

# 議会 ORAMACHI だより



やすらぎの池（中央公園内）の白鳥

## 平成 21 年 11 月臨時会・12 月定例会

\* 平成 21 年度補正予算可決（一般会計・各特別会計）

【一般質問】 \* 7 人の議員が町の考えを問う

（田部井健二議員、本間恵治議員、小島幸典議員、大野貞夫議員  
遠藤幸夫議員、小沢泰治議員、小倉 修議員）



- ◆可決された議案 ..... 3
- ◆一般質問 ..... 4 ~ 8
- ◆わたしのふるさと等 ..... 9 ~ 12

# 心豊かに暮らせる 町づくりを目指して

## 議長年頭のあいさつ



議長 相場 一夫

新年明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては、2010年の輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年国内においては、夏の衆議院総選挙の結果、16年ぶりに政権交代が行われ、民主党を中心とする新内閣が誕生しました。「コンクリートではなく人を大切に政治」を掲げた新政権の施政方針のもと、公共事業費の削減がされる一方、社会保障費を手厚く配分した政府予算案が提示されております。

このような国の状況を受けて、「地方主権」を掲げる国の立場から地方交付税などの増額が見込まれる半面、景気低迷による町税の落ち込みなどで、厳しい財政運営が続くものと思われまます。健全なる財政状況と効率的な事務事業の執行を監視すべく議会の果たす役割や責任も一層増していくものと考えています。

人々が安全、安心で、心豊かに暮らせる町づくりを目指し、皆様の負託に応えられるよう新たな決意をもって臨んでまいりたいと思ひます。本年もご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 謹んで新年のお慶びを申し上げます

議長 相場 一夫  
副議長 立沢 稔夫

### 総務・文教常任委員会

委員長 加藤 和久  
副委員長 山田 晶子  
委員 石井 悦雄  
委員 細谷 博之  
委員 小倉 修

### 厚生・環境常任委員会

委員長 小島 幸典  
副委員長 大野 貞夫  
委員 本間 恵治  
委員 立沢 稔夫  
委員 小島 陸夫

### 建設・経済常任委員会

委員長 岩崎 律夫  
副委員長 田部井健二  
委員 横山 英雄  
委員 小沢 泰治  
委員 遠藤 幸夫

# 可決された議案

## 11月臨時会

### 邑楽町職員の給与に関する条例等の改正

人事院勧告に基づき、給料、期末・勤勉手当を引き下げ、持家に係る住居手当を廃止しました。

### 邑楽町長、副町長、教育長等の諸給与支給条例の改正 邑楽町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

職員の給与改定に伴う期末手当の改正に準じて、期末手当を年間0・35月引き下げました。

## 12月定例会

### 東毛広域市町村圏振興整備組合の規約変更

「群馬の水郷」の板倉町への譲渡に伴い、規約を変更しました。

### 館林邑楽農業共済事務組合の規約変更

館林邑楽農業共済事務組合を解散し、群馬県農業共済組合に事務を承継するため、規約を変更しました。

### 館林邑楽農業共済事務組合の解散

館林邑楽農業共済事務組合の解散に関する協議について可決されました。

### 館林邑楽農業共済事務組合の解散に伴う財産処分

館林邑楽農業共済事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議について可決されました。

### 邑楽町福祉センターの設置及び管理に関する条例の改正

施設の使用料について町外利用者及び町内の64歳以下の利用者を有料とする改定がされました。

### 邑楽町公共下水道条例の改正 邑楽町水道事業給水条例の改正

下水道使用料及び水道料金消費税について、税抜き表示から税込総額表示に改正しました。

### 損害賠償の額を定めることについて

ぐんまフラワーパーク内にて発生した事故につき、同施設管理会社の求償権に基づき支払う額を、損害賠償金の50%（36万3186円）と決めました。  
（※損害賠償金については、全国町村会総合賠償補償保険から支払われます。）

## 12月定例会 ■平成21年度補正予算

会計別		予算現額	補正額	予算総額
一般会計		74億5,422万円	8,259万円	75億3,681万円
国民健康保険特別会計		28億5,369万円	△135万円	28億5,234万円
老人保険特別会計		6,331万円	△2,159万円	4,172万円
介護保険特別会計		13億8,729万円	4,755万円	14億3,484万円
下水道事業特別会計		3億9,272万円	△1,013万円	3億8,259万円
水道事業会計	収益的収入	5億4,271万円	64万円	5億4,335万円
	収益的支出	5億1,427万円	343万円	5億1,770万円
	資本的収入	1億1,060万円	1,870万円	1億2,930万円
	資本的支出	3億8,120万円	1,062万円	3億9,182万円

# 一般質問

一般質問は、12月14日及び15日の二日間にわたり行われました。町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

## これからの町政運営について

**田部井健二議員** 町から教育長が消えて今日が75日目である。これは町長の町づくりの一環なのか。

**町長** 教育長の任期が9月30日に満了して今75日との質問ですが、町づくりの一環とは思っていない。

**田部井健二議員** 教育長の必要性、重要性は町長が一番知っているはず。職員・議員時代から現在に至るまで45年以上も町行政に関わってきた。教育委員会学校教育課長まで歴任している。そのあなたが教育長を置かない町政運営をしている。私には理解できない。

### 教育長は重要な職責

**町長** 教育長は、議員が指摘されたように重要な職責である。幅広い人材の中から立派な方々を思い検討しているが決められなかった。

**田部井健二議員** 前任者が9月30日で退任することは、4月から本人が明言していた。町長が9月の定例会で議会に教育長人事を提案しなければ、必然的に10月1日から町に教育長がいなくなることは分かっていたはずだが。

**町長** 質問の趣旨は十分理解できる。ぜひ次回の定例会までに提案できるように努力する。

**田部井健二議員** 町長から具体的に次回の定例会と話があったが、今から3月まで100日ある。学校の教育現場がどうなっているか知っているのか。

**町長** 教育現場は、以前と同じような状況で行われていると認識している。

**田部井健二議員** 今、学校は町始まって以来のインフルエンザの流行で、現在学級閉鎖になったクラスが18学級、学年閉鎖になった学年は10学年。各学校では予定していた行事の見直しを行い、中止や延期など大変な騒ぎが起きている。

**町長** 新型インフルエンザに起因して、学校行事が中止になっている状況は聞いている。

**田部井健二議員** 教育長を180日間不在にする。そんな町が群馬県内どこかの市町村にあるのか。

**町長** 県内には、このような状況は恐らくないと思う。

**田部井健二議員** 最初から教育長を置かないような愚かな行政運営をした町長はいない。ぜひとも頑張つて、教育長不在で新年を迎えるものかと強い意識を持つていただきたい。

**町長** 指摘されたような努力をしていきたい。

**田部井健二議員** なかなか教育長の任命もできない。

議会に対して一切説明も釈明も相談もない。町長は議会を信用、信頼しているのか。議会の意見を聞いてみることも私は必要と思うが。

**町長** 決して議会を信用していないということはない。議会での議決がなければ前に進まないということは承知している。教育長の問題では大変時間がたっている。議員の皆さんに事前に考えを示すべきという話があったが、それについて大変申し訳なく思っている。

## 鶉土地区画整理について

**本間恵治議員** 現在の経過について説明を。

**都市計画課長** 鶉地区39・7鈔を公共施行として町が

事業主体となり、平成13年度に事業に着手した。当初の完成年度は、平成18年3月を予定していたが、平成14年度に見直しを行い、事業期間を17年間延長し、平成35年3月を完成目標に今事業を推進している。平成20年度末の整備状況は、全

体面積に対して10・4鈔が完成し、率にすると26・2%の整備状況である。

**本間恵治議員** 町長は私が町長になればもっと早くできると豪語して町民の支持を得た経過がある。予算の執行状況から見ると、どんどん削られ、補正予算をとって前年度並みの予算が計上されたが、来年度の予算執行をどのように考えている



鶉土地区画整理事業

のか。  
**町長** 20年度に指定した7・2分の仮換地指定内の事業を中心に進めていきたい。予算額については、国の政権交代によって不透明な部分があり、具体的には申し上げられない。

**本間恵治議員** 邑楽町の都市計画税は、年間1億3000万円ほどになる。鶉区画整理の予算は今年度補正予算を足して5600万円。

その半分も鶉の区画整理に使われていない。当初3億円近い予算をとった時もあった。家を壊し明け渡しをして換地されたところに新しく家をつくる場合でも、仮換地指定されたところにすぐに家が建てられない。道がなく、前の建物が立ち退かなければ出られない。そういう実情がある。本来個人の財産であるが、自分のものであっても自分で使えない。そういう人が予算

の執行状況の中にいる。このように切実たる区画整理の中の現状を目の当たりに見たとき、当事者のために財産を一時留保するような必要性が区画整理の中で出ている。町長は公約で、私が町長になったら早く区画整理が終わるようにすると言ったと聞く。地域の人はみな協力している。遅滞なく進めるよう予算をつけていただきたいと思うが。

### 計画的な事業執行

**町長** 22年度も本当に厳しい予算であるが、それを遅らせるということにもならない。計画的な事業執行ということが大切であり、そのためにはその予算の配分ということもある。念頭に置いた中でこれからの予算作業に努めていきたいと思っている。

- その他の一般質問
- ・選挙について
- ・教育行政について
- ・公共施設について

## 新給食センター建設について

**小島幸典議員** 9月の議会で新給食センターの予算を補正で組んだ。建物は鉄筋造りか、木造か、建坪・設備の概要は。

**学校教育課長** 設計業者によると、当町以外でセンターを造った例では、鉄骨造りが多く、耐火性や経済比較等で選ばれていると思う。建坪等は、今のセンターは約919㎡で、学校給食安全基準等を満足させるには、現在の施設面積よりかなり増えると思う。設備については、温度と湿度を一定に保つ空調設備等が必要不可欠となる。

マイナス面が出てくるのが心配で、賛成しなかった経過がある。町の財政調整基金は、現時点13億円である。建設資金の捻出は。

**学校教育課長** 総額については設備面もあり、かなりかかるかと考えている。予算については、国の事業仕分けの対象に公立学校施設もなったという事で先行き不透明であるが、補助金・起債・一般財源（基金等も含む）を考えている。

**小島幸典議員** 議員はセンター検討委員会に入っていない。町長の公約の中に、センターの建設は入っていない。2月に資料が来て、6月には検討委員会を立ち上げ、次は議会で承認してくれと、建設に関しては賛成したが、予算に関しては

**小島幸典議員** 2月の時点での資料中、富岡市給食センターは総事業費18億円と半端な数字ではない。町の財政を考えれば、課長が言ったような起債の実例として、太田市では対象が市内に住む20歳以上の住民で、購入可能額は一人当たり10万円から100万円、5年満期一括償還で、ハガキで公募している。このような手法で町民から助けてもら

い、利息を町民に戻してお互いに活性化出来れば、財政調整基金を使わない方法もあるのでは。

## 予算については 基金等利用

**町長** 給食センターの建設については、先の定例会で設計委託料を認めて頂いた。その財源の内訳だが、富岡市が18億円と数字が出され、配食数が5500食。当町は3000食で施設設備の面も若干狭く、単純に考えた場合、8億円から9億円と思われる。予算については当然基金等の利用が考えられ、起債の部分については財政担当に研究させている。

**小島幸典議員** 富岡市では18億円、栃木県国分寺学校給食センターの総工費は約5億6600万円（うち国庫補助金約5200万円）と較差がすごくある。また、20年度行政実績で当町のセンター稼働日は195日である。地産地消の研究施設

もつくり利用しては。  
**学校教育課長** 残された日の有効活用と思うが、今後調査研究をしていきたいと考えているのでご理解を。

■その他の一般質問  
・地産地消について



建設が予定される学校給食センター

## 町長の議会対策について

**大野貞夫議員** これからの町政運営において、議会との円滑な関係を築いていかないとスムーズに事が運ばない。町ではこの間、合併問題に始まり、町長選、町民の町に対する訴訟、設計業者による裁判、議員が議員を訴える、実に様々な事があつた。この事が議会内の確執を招き、肝心の町づくり我真摯に取り組みなかつた点町長はどう思うか。

### 真剣に町政運営を

**町長** 問題があつたのはそのとおり。しかし、私の個人的なことで、当時許せないという問題もあつた。今後も私自身真剣に町政運営を進めていく。

**大野貞夫議員** この間の細かい事は省くが、辞職勧告を受けて、否決されたにも

かわらず訴訟に持つていった。私は、町議補選時、今町議会は町民不在の不毛な対立が続いていると訴えてきた。多くの町民は、何でもいつもガタガタやっているのかと、これでは良い町づくりは出来ない。ではどうしてなのか、原因がある訳である。これはあなたが議員時代に起こした事実である。一議員であれば、大きな問題にならなかつた。それが町長になつた。議会は言論の府である。自由な論議が基本的に保障されている議会の中で起こつた事は、議会の中で解決する。これは鉄則だ。これをあなたは裁判を起こしてしまつた。一番の原因は、ここにあると思うが。

**町長** 事実として調査したという経緯があれば、そこまでいかない。しかし、癒着とか越権行為とか理由があつた訳で、全く身に覚えがない。その事が許せない

ので、そういった状況を作った。

**大野貞夫議員** それは会議録を読んでわかつている。仮に、非もなかったとして、この事は議会で否決された。それにもかかわらず裁判に持って行った。これは間違いである。諺に「批判すれども敵視せず」とある。自分の意に沿わない事でも、受け入れる寛容な姿勢、これが民主社会では大切な事である。あなたには、その点が欠けているのではないか。また、訴訟に行く前に、懲罰動議という手もあったはずである。素直に非を認めたらどうか。

**町長** その間、そのことについて当時の議長にも相談した。しかし、それが叶わなかった。表決で否決はされたが、先ほど申し上げたように許すことが出来ない思いがあった。ただこういう立場でお世話になったので、取り下げをしたかったが、同意できないということであった。この問題について裁判官から放棄ということもあると提案され、そのようにお願いした。

■その他の一般質問  
・町政に対する町長の基本的な考えについて  
・新政権下における町の予算編成方針について

## 地デジ放送への移行について

**遠藤幸夫議員** 現在のアナログテレビで番組が見られるのは2011年7月24日までであり、その後は地上デジタル放送になる。今やテレビは生活必需品となっているが、本町において円滑な移行が推進されている

かどうか聞きたい。まず、本町における一般家庭の地デジの対応と普及率はどれくらい進んでいるのか。  
**企画課長** 今は、アナログ放送とデジタル放送の2種類の放送を行っているが、アナログ放送は2011年

7月24日をもって放送が停止されるということが決まっている。これらの対応について、町内の状況は現在のところ把握していない。総務省が本年9月に実施した地上デジタルテレビ放送に関する浸透度調査の結果によると、全国レベルでは、世帯普及率は69・5%、群馬県はそれより高い71・3%という調査結果が出ているという状況である。

**遠藤幸夫議員** 学校や公民館など公共施設の対応と普及率を聞きたい。

**企画課長** 町内公共施設の地上デジタル化への対応状況であるが、補助金などを活用し、公民館など生涯学習施設については整備を完了している。また、幼稚園・小学校・中学校など学校教育施設についても、今年度中の地上デジタル化への移行を進めている。公共施設の地上デジタル化率だが、22年3月末には約90%となる見込みである。

**遠藤幸夫議員** 私は一般家庭の残り30%が大変問題に

なると考えている。年配者の中には「機械のことはよく分からない」とか、「BSも地上デジタルも要らない」といった考えをもって、いる方もいるという話や、悪徳商法的な件もあると聞いている。そこで特に高齢者に対してはきめ細やかな対応が必要と考えるが、一般家庭と高齢者への今後の取り組みについて聞きたい。

### 説明会でPR

**企画課長** 地上デジタルの広報と普及促進については、総務省のテレビ受信者支援センターで行っている。邑楽町では年明け、2月23日、24日、25日の3日間で説明会を開催する予定である。開催の周知については町内全世帯にポストインを行うが、町

でもこの説明会を広報誌2月号に掲載する。また、議員が心配されるように高齢者世帯の普及率が若干低いというデータが出ている。町も来年の7月以降、随時地上デジタルに対するPRを考え、町民の方がそのときになって、テレビが見られなくなったなどとならないよう周知を図っていきたい。

■その他の一般質問  
・安全・安心対策について  
・決算意見書と予算編成について



地上デジタル化が進む教育現場

## 高齢者の増加が確実の邑楽町に於いて、行政は何をすべきか

**小沢泰治議員** 高齢化が進む邑楽町。60歳以上の方が人口の29・64%、55歳以上の方が38・31%。第一線を退いた多くの町民に対する町の対応について、どのようにしたら皆が生き生き、わくわく、うきうき、後ろ向きにならずに生活できるか。町長に聞きたい。

**町長** 私は、生き生きと生活していくということの人生設計については、人それぞれ当然あるだろうと思っ  
ている。高齢者の福祉についても、それぞれの制度で支援して、軽スポーツ等をしていく方については、町にある運動場を利用してそれを是非続けて、健康第一でモチベーションを上げる。多くの方がそんな形で生活されているので、それを支えていければと思っている。

**小沢泰治議員** 高齢者が、

町の有権者2万2300人の半分を占める日も近いと思う。多彩で有能な多くの人材の活用、支援を受け、ぜひ、町が主導となりながらの遊休農地等の活用について、町長の考えを聞きたい。

### 耕作放棄地の利活用も

**町長** 人間は土とのかかわりが非常に大切だということとを本で読んだこともある。そこから生産される農作物を栽培するということは、大変大切なことだと思っ  
ている。町内で大変増えている耕作放棄地を活用し、農地を借り上げて、希望者の方に利用してもらおう。これは大変貴重なご意見で、これは農協ともかわりがあると思う。一番には、所有

者との問題になるわけだが、研究させていただければと思う。

**小沢泰治議員** 高齢化して離農していく方は非常に多いかと思う。ぜひ、ベテランで、いろいろ経験のある方を指導者に迎え、町民、成人の5割も占める皆さんが、ますます活躍できる場を作ればと思う。研修(体験)農場を作り、そこに参加をし、生産の喜び、成長の喜び、販売あるいは施す喜び、多くの人たちにそれらの喜びを感じてもらおう、かつ、それを市場に出荷して利益を出すような組織体制づくりをぜひ行政として実行してほしい。

**町長** 家庭菜園というか、ものをつくる喜びを感じるということ、大変成果が上がるという状況もあるようだ。十分農協の方とも連携をとり研究し、具現化できると努力したい。

**小沢泰治議員** 町、農協が主導をとり、高齢者の経験と知識を持つ方々を指導者として迎え、熟年の方が死

を意識せずに加齢する社会を構築し、邑楽町民がますます元気になれる高齢社会をぜひ創って欲しい。

なら社長)は何を考え、何をすべきか  
一般質問の掲載について  
小倉修議員の一般質問は、本人の申し出により掲載されていません。  
広報委員会としては、掲載を要望しています。

■その他の一般質問  
・組織の頂点、町長(会社



多くの高齢者が活動している活力センター



# 全国町村議会議長会特別表彰

全国町村議会議長会より、石井悦雄議員が永年勤続による特別表彰を受けました。今後も町発展のため、一層のご活躍を期待します。



石井悦雄 議員  
全国町村議会議長会特別表彰

## 請願・陳情

7件の請願が受理され、所管の常任委員会に付託されました。

審査の結果は次のとおりです。

### 【採択となった請願】

▼利根川新橋及び幹線道路網の早期着工についての請願  
請願者 千代田町舞木

利根川新橋を架ける市民の会長 齋藤久夫

### 【継続審査となった請願】

▼日本への核兵器持ち込みを認めた「密約」の公表と廃棄を求める意見書の採択を求める請願

執行委員長 小崎洋一郎

▼現行の公的保育制度を堅持・拡充し、保育所への直接契約方式・保育料の応益負担方式を導入しないよう求める意見書採択を求める請願  
請願者 高崎市倉賀野町  
おひさま倉賀野保育園内  
全国福祉保育労働組合群馬支部

執行委員長 澤村 直

▼EPA・FTA推進路線の見直しを求め日米FTAの推進に反対する請願  
請願者 前橋市富士見町  
群馬県農民運動連合会  
会長 井上健太郎

▼米価の回復と価格の安定、ミニマム・アクセス米の輸入中止を求める請願  
請願者 前橋市富士見町  
群馬県農民運動連合会  
会長 井上健太郎

▼後期高齢者医療制度の即時廃止を政府に求める請願  
請願者 前橋市樋越町  
全日本年金者組合群馬県本部

## 旅

## REST ROOM 休憩室



山崎 征夫  
(前原・4区)

旅、いろいろな形があります。徒歩の旅・自転車・バス・列車・飛行機・船・そして車、それらを組み合わせての旅。最近ではロケットでの宇宙の旅も売り出されているとか。

私のここ十数年の旅はといえば、客船「飛鳥」での世界一周の旅。遊びではなく仕事で乗船しています。クルーではなく講師として。乗船客の心身の健康をサポートしながらの旅。毎回二十数カ国の港に寄り、国・風景・建造物・人との出会い、そしてそれぞれの国の食との出会いを楽しみながらの百数日の旅。

旅はトラベル、数々のトラベルに出会い、それを克服して旅を続ける事がトラベル変り、終わった時、楽しい思い出として残る事が旅、トラベル。よく人生は旅に例えられます。良き人生を、良き旅を。

ボンボヤージ！  
(素晴らしい旅を！)



# 意見書

議員提案の意見書2件を可決しました。意見書は関係行政庁に提出しました。八ツ場ダム建設推進を求める意見書

昭和27年利水・治水及び水資源確保を目的とした八ツ場ダム建設計画が、長野原町に提示されて以来半世紀以上が経過した。

この間、地元水没地域住民はダム建設の是非をめぐり激しい反対闘争を起し、この建設問題で大いに揺れ、長い年月にわたり議論を経た結果、苦渋の選択を迫られ悩み苦しんだ末に地元はダム建設を受け入れた。

長年慣れ親しんだ地を離れる者、また、代替地を選択して川原湯温泉の復興を求める者など、住民の胸中は幾ばくのものであったか察するに余りある。

しかし、政権公約における「無駄な公共事業」としてのダム建設の一方的中止は、まさに地元住民の今日

までの意思形成を根本から覆すものであり、再度住民を不安の境地に立たすことになると思慮される。

国の政策に従い締結した事業を、政権交代により一方的に建設中止とすることは、長野原町、東吾妻町をはじめ関係1都5県にも多大な影響を及ぼすものであり、同じ地方公共団体の議会として看過することはできないものである。

今後も国の責任において、地域住民及び関係自治体に対する十分な説明と協議等を行い、引き続き地域住民の生活再建とダム建設を推進されるよう強く要請する。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

## 利根川新橋及び幹線道路網の早期着工を求める意見書

群馬県の東毛地域と埼玉県熊谷市、栃木県足利市を結ぶ交通路の中で、「利根川新橋」（仮称以下同じ）

の建設が話題になり始めたのは、約40数年も前からである。

地域住民にとってこの橋にかける思いは大きく、一日も早い完成が長年の願いであり、行政・議会による建設促進運動とともに、自主的・自立的な住民運動も展開している。

このような状況の中、群馬県は平成21年3月「はばたけ群馬・県土整備地域プラン」の中で「利根川新橋（赤岩）」の事業化（おおむね10年の計画）を策定し発表した。

その後、募集された「パブリックコメント」の集計内容では「計画に賛成」「計画の前倒しを、早期に着工・完成」の声が全てと言える程の多数を占めている。

既設橋梁の混雑緩和だけでなく、広範囲な地域住民の利便性を飛躍的に向上させ、地域経済の発展も大いに促進する「利根川新橋」を是非、刀水橋と利根大堰の間に早期に着工するよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

REST ROOM

## 休憩室



村田 ゆみ子  
(藤川・16区)

私は、生まれつき体が悪く、物心ついた時から、その事と向き合い生きて来ました。そんな私が成人した頃、ちよつとしたきつかけで洋菓子作りを覚えしました。最初は、家族に喜んで食べて貰えることが私の喜びでした。でも、その後、色々な種類のお菓子作りに挑戦するようになり、家族の他に私を励まし応援してくれている方々に、私が作ったお菓子を食べて貰うことが私の出来る恩返しだと作り続けました。その時の目標は「食べてくれた人を笑顔にするそんなお菓子を作ること」でした。今は、少しずつその目標に近づけている、そんな気がしています。それから、お菓子作りを始め、気になつていた自分の体のハンデが、あまり気にならなくなり、少しでも自分に自信がつきました。私は、今後も周りの皆さんへの感謝の気持ちをお忘れずに、お菓子作りを続けて行こうと思います。

## ハンデを乗り越えて

# 議 会 の 動 き

## 《11月》

- 6日 県議長会議会広報研修会
- 8日 館林地区消防組合秋季点検
- 10日 東毛広域市町村圏振興整備組合議会  
議長会・議会運営幹事会
- 11日 邑楽郡町村議会議長会臨時会、  
町村議会議長全国大会
- 16日 議会運営委員会、  
総務・文教常任委員会
- 17日 厚生・環境常任委員会、広報委員会、  
全員協議会
- 20日 東毛広域市町村圏振興整備組合議会
- 26日 第4回臨時会
- 30日 議会運営委員会、  
総務・文教常任委員会

## 《12月》

- 1日 厚生・環境常任委員会、  
建設・経済常任委員会
- 2日 全員協議会
- 11日～17日 12月定例会  
(本会議、議会運営委員会、各常任  
委員会、全員協議会、広報委員会)
- 22日 館林邑楽農業共済事務組合議会臨時会  
邑楽館林医療事務組合議会臨時会
- 24日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 28日～31日 消防団歳末警戒の督励

## 《1月》

- 7日 広報委員会編集会議
- 8日 群馬県市町村トップセミナー
- 9日 館林地区消防組合出初め式
- 10日 成人式
- 13日 新年賀詞交歓会
- 19日 広報委員会校正会議

### 広報委員会委員の変更

議会だよりの編集発行を担当する議会広報委員に、9月に執行された議会議員補欠選挙により当選した3名の新議員が加わりました。これを受けて、立沢委員長及び岩崎副委員長が退任し、委員会構成は次のとおりとなりました。

委員長	遠藤 幸夫	副委員長	山田 晶子
委員	小沢 泰治	委員	田部井健二
委員	大野 貞夫	委員	小島 陸夫



小島 大野 遠藤 山田 小沢 田部井

### 議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、3月9日から19日を予定しています。

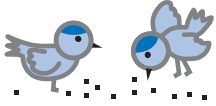
住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。

役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録（議事等の経過をそのまま記録したもの）は、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館（長柄公民館）、勤労青少年ホーム（ヤングプラザ）に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/gikai>

詳しくは、議会事務局まで  
88-5511（内線300）



# わたしのふるさと



## 【東京都渋谷区初台】

安藤則浩（谷中蛭沼・11区）



代々木屋内競技場

私が生まれた頃は、渋谷区代々木初台という地名だった。「初台」は、太田道灌が今の代々木八幡の地に築いた築城八ヶ所の一の砦から出た名である。二代将軍徳川秀忠の乳母、土井昌勝の妻が、この地に二百石を拝領したことから、「初台の局」といわれた。

初台の北側を甲州街道・京王線・玉川上水が並行していた。団塊の世代の私たちが幡代小学校へ入学し通っていた頃、この玉川上水や明治神宮、まだあち

こちに残っていた空き地などで、よく遊んだ。教室が足りず、「二部授業」で、65名×7クラスが午前組と午後組に分かれた。その後進んだ代々木中学では、1学年14クラスもあった。

意外にも、東京には今も緑や公園が多い。東京オリンピック(1964年)以前は、もっともって緑があった。新宿・渋谷に近い初台も、木々が茂り、草花が溢れる静かな「山の手」だった。「代々木練兵場→米軍ワシントンハイツ」跡地がオリンピックの選手村やプール、NHK放送センターになった。さらに首都高速が造られ、高層ビルが建ち…。生まれ育った実家から、東京タワーが見えなくなってしまった。でも、「ふるさと初台」が大好きである。

## ◎ 編集後記 ◎

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

さて、町議会は昨年9月20日に執行された町議会議員補欠選挙において、当選した3名を加えて広報委員会の構成再編を行ないました。そうした中で、12月定例会は去る12月11日に開会し、17日までの7日間の会期で行われ、町執行部と議会とで「行政全般」にわたる熱の入った議論が交わされました。

新広報委員会では、これらの模様を「議会だより」で町民の皆様に的確にお伝えできればと思っています。

再編後の間もない編集作業であり、大きな不安と緊張感の中での取り組みとなりましたが、議会活動をわかりやすく親しまれる「議会だより」としてお届けし、読者と議会、議員をつなぐ「かけ橋」となれるよう、努めてまいります。

これからも町民皆様のご愛読をお願いいたします。

(記 遠藤)



■発行 群馬県邑楽町議会 ■発行人 議会議長 相場一夫

■編集 邑楽町議会広報委員会 群馬県邑楽郡邑楽町大字中野 2570-1 TEL0276-88-5511 (内線 300)

(皆様のご意見、ご要望等、議会広報委員会までお寄せください。点訳版をご希望の方は、ご連絡ください。)